

令和4年度表彰式

公益社団法人 におい・かおり環境協会
表彰委員長 藤倉まなみ

本年度の表彰については、各賞選考部会における検討結果を受けて、表彰委員会で審議し、各賞の受賞候補者を決定し、令和4年度第1回電磁的決議による理事会で承認を得て、次のとおり受賞者を決定しました。なお、表彰式は令和4年8月31日のにおい・かおり環境学会（大同大学・オンラインによるハイブリット開催）にて行いました。

功労賞 岩橋 尊嗣 殿（大同大学 工学部）

〔授賞理由〕岩橋氏は、民間の化学品の製造会社に勤務され、化学反応型の消臭剤の開発研究に従事され、消・脱臭剤の効能試験や反応メカニズム等の解明で功績をあげられた。大同大学に変わられてからは、臭気に関する教育・研究に携わり、また、香りの活用による快適環境づくりにも強く関心を向けられた。

当協会のいくつかの委員会の委員を務められた。特に、機関誌の編集委員長は長期にわたり務められ、臭気だけでなく、香りの分野の技術情報も数多く掲載され、においから香りに亘る幅広い分野を取り扱う専門誌へと育て上げられた。また、表彰委員会の「におい・かおり環境賞」の選考部会長として、香りを取り入れた街づくりに取り組んでいる自治体や企業を選考することにも尽力された。

協会の運営に関しては、平成17年から令和2年まで連続して長期に亘り理事を務められ、最後の2年間は副会長として活躍された。

このように、本協会が臭気対策のほかに、香りの重要性を認識して、その活用による快適な生活環境の創造等にも取り組むなど、本協会の更なる発展への方向性を示された功績は誠に多大である。

学術賞 佐藤 忠章 殿（国際医療福祉大学 薬学部）

〔授賞理由〕佐藤忠章氏はアロマセラピーの科学的な解明に向けた基礎研究、および漢方乾燥エキス製剤化工程でのかおりの保持に関する研究をしている。植物精油や単一成分を用いた抗疲労作用、抗不安作用、認知機能改善作用、血圧と心拍数の低下作用などの報告がある。一方1,8-シネオールは脳内で代謝される時間が遅く利用する場合に注意が必要であると言う報告もしている。このような知見は実際の植物精油の医療への応用の基礎となるものである。

また、漢方薬とかおりの面からの研究においては、乾燥エキス製剤化工程でかおり成分の損失を桂皮湯の揮発性成分シンナムアルデヒドに注目し濃縮プロセスで乾燥温度が重要な因子となる事、桂皮湯と麻黄湯の濃縮でシンナムアルデヒドの保持に杏仁が影響している事を報告している。

エッセンシャルオイルの生理・生化学的な効用の基礎的な研究や揮発性の成分に着目した漢方乾燥エキス製剤化における温度の影響や構成生薬の検討は、かおりの積極的な利用に向けた学術的研究に貢献をするものであり本協会への関わりが高い。